

令和5年度 牧之原市総合教育会議

牧之原市内における外国人児童生徒の編入学状況と  
日本語初期支援教室「いっぽ」の運営について



静岡県牧之原市

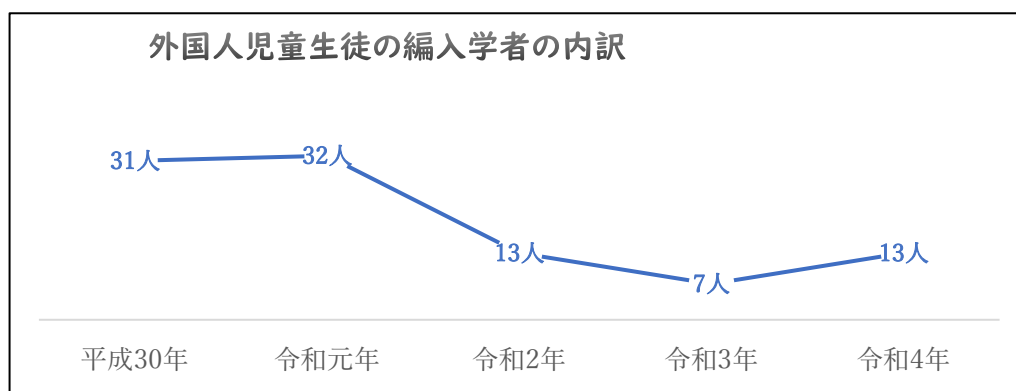
はじめに…市内の人口に占める外国人の割合（令和5年5月末現在）

総人口	外国人	外国人の割合
43,270 人	2,402 人	5.5%

## 1 市内小中学校における外国人児童生徒の編入状況

(1) 外国人児童生徒の編入学者の内訳

年度	平成30	令和元	令和2	令和3	令和4
児童生徒数	31人	32人	13人	7人	13人



(2) 令和5年度外国籍児童生徒国別内訳（令和5年5月1日現在）

国籍	小学生	中学生
ブラジル	47人	23人
フィリピン	11人	4人
ペルー	2人	2人
ベトナム	2人	0人
その他	8人	1人
計	70人 (*59人)	30人 (*14人)

### \*特別教育課程

別室にて、日本語の学びに特化した授業を行い、バイリンガル相談と教員が、個別または小集団で授業を行う。児童生徒の日本語の定着状況により週1回から3回程度実施。

(3) 令和5年度外国籍児童生徒学校別内訳（令和5年5月1日現在）

学校名	外国籍人数	全校人数	外国籍の割合
相良小	14人	419人	3.3%
菅山小	3人	126人	2.4%
地頭方小	8人	188人	4.3%
川崎小	22人	384人	5.7%
細江小	44人	394人	11.1%
相良中	11人	391人	2.8%
榛原中	19人	508人	3.7%
計	121人	3,055人※	3.9%

※全児童生徒数

(4) 令和5年度バイリンガル相談員の配置

バイリンガル相談員	主たる学校	兼務校
ブラジル人 女性	相良小	菅山小、地頭方小、相良中
ブラジル人 女性	細江小	—
ボリビア人 男性	榛原中	川崎小

(5) 令和5年度に海外から転入してきた公立学校編入希望者（令和5年10月末現在）

国籍	人数	国籍	いっぽ在籍人数
ブラジル	18人	ブラジル	16人（小15・中3）
アメリカ	1人		
フィリピン	4人		
スリランカ	1人	スリランカ	1人（小）
中国	1人	中国	1人（小）
ペルー	2人		
計	27人	計	18人



## 2 日本語初期支援教室「いっぽ」

### (1) 「対象者」は……

次のいずれも該当する者

- ・ 牧之原市に在住している小学校 1 年生から中学 3 年生の年齢に該当する者
- ・ 日本語が理解できない、またはほとんど会話ができない者
- ・ 市内に転入してきた者、または、既に市内在住で外国人学校からの編入学を予定している者

### (2) いっぽについて……

定員を10名とし、午前10時から午後3時まで学習が行われ、子どもたちの自宅付近まで送迎を行っている。

指導者は、ポルトガル語が堪能な者と、過去に日本語初期支援教室で指導を務めていた者の2名体制で指導を実施している。

学習期間を最長6箇月とし、その後小中学校へ編入を行う。指導者は日本語で全ての指導を行う。

学習だけでなく、日本の文化に触れる行事（七夕、スイカ割り、流しそうめん、サツマイモ堀りなど）や、礼儀作法なども丁寧に指導し、編入後の円滑な学校生活や人間関係づくりに役立つよう努めている。

### (3) いっぽの学びについて……

#### ア 国語

学習レベルは小学校2年生程度。ひらがなや、カタカナの読み書きだけでなく、短文を作ったり書いたり、また自分の気持ちを相手に適切に伝える等、コミュニケーションが円滑に成り立つレベル。

#### イ 算数

学習レベルは、発達年齢等に応じて異なるが、「和、差、積、商」だけでなく、図形の面積を求めるなど、低学年であれば学年相応までの定着が身に付く子どももいる。

(4) いっぽの学習の様子

ア 開校式 (令和5年4月17日)



イ 授業



ウ イベント



### 3 「いっぽ」で学び、小中学校に編入した児童生徒

10月末日現在において、「いっぽ」で学び市内小中学校へ編入した児童生徒数は、6人となった。

#### (1) 学校現場の声（「いっぽ」の開室以前）

- ア まったく日本語がわからない状態であったため、ひらがなやカタカナの読み・書きや、数字の読み方からはじめ、何カ月もかけて指導をしなくてはいけない。バイリンガル相談員の人手が足りないため、学年相応の学習レベルまでは定着が難しい。そのため、中学生では退学をしてしまうケースも多々あった。
- イ 日本語が通じないため、母国語で会話をするブラジル人のグループができ、日本の友達とかかわることもなく、日本語を話す機会がますますなくなり、日本語を覚えようという意識が薄いように感じた。

#### (2) 学校現場の声（「いっぽ」の開室後）

- ア 日本語初期指導の必要がなく、一斉学習において日本語の理解ができるため、学年相応の教科の力をつけていくことができる。日本人の友だちも早々にでき、コミュニケーションを楽しんでいる姿が見られる。
- イ 高校進学という夢をもって学習に励む姿が、これまでにはない前向きな姿勢がみられる。
- ウ 生活習慣も身に付いているため、礼儀正しく学校生活を送り、集団行動などにおいて時間を守るなど、自ら考えて行動ができている。

### 4 「いっぽ」と小中学校とのつながり

#### (1) 編入に向けての流れ

- ① いっぽ入級の際、学校教育課から編入予定校へ児童生徒の情報を伝える。（半年後に編入する旨を伝える）
- ② 入級1箇月前に、本人及び保護者と いっぽ指導員、学校教育課担当が編入先の学校を訪問し、学校事務職員及び学級担任と各手続き及び引継ぎを行う。
- ③ 編入後、いっぽ指導員は編入先学校へ出向き、その後の児童生徒の様子を参観し、学校職員と面談を行う。

(2) 学校担当者とのかかわり

- ・外国人児童生徒担当者研修会（令和5年5月22日実施）を、いっぽを研修会場として開催した。

<参加者内訳>

小学校教員：4名  
中学校教員：3名  
県教育委員会：2名（日本語指導コーディネーター）  
いっぽ指導者：2名

<研修内容>

- ・初期日本語教室「いっぽ」 授業参観
- ・「いっぽ」概要説明
- ・県教委による講話「子どもたちの困難さの背景からの支援」
- ・グループ協議

<参加者の声>

- ・本市に初期支援教室が開設され、非常に心強い。今後、指導において行き詰まったら相談をさせていただきたい。
- ・指導のノウハウを我々も学び、在籍する子どもたちに活かしていきたい。
- ・可能であれば、受け入れ人数をもっと増やしてほしい。

## 5 今後の「いっぽ」の運営

(1) 令和5年度日本語初期支援教室の事業費

ア 事業費 日本語初期支援教室事業費 9,909,805円

イ 財源

文部科学省「帰国外国人児童生徒等教育の推進支援事業」 3,303,000円

しずおか中部連携中核都市圏5市2町負担金 3,303,000円

利用料（利用する子ども1人付き月額8,000円）

(2) 利用者数（10月末日現在：延人数56人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用人数	6人	6人	7人	8人	9人	10人	10人

(3) 令和6年度からの運営に向けて

	定員	指導者	教室数	送迎運転手	送迎車両	教材・印刷費
5年度	10人	2人	1	1人	1台	10人分
6年度	15人	3人	2	2人	2台	15人分

## 6 保護者の勤務先

(1) いっぱに在籍する保護者 勤務先

勤務先名	人数
スズキ	7
小糸製作所	7
イカイコントラクト	5
矢崎部品	2
その他	1
無職、不明	4

(2) 市内外国籍児童生徒 保護者 勤務先 (令和元年1月調査より)

勤務先	人数	勤務先	人数
スズキ	24	トライ島田	2
矢崎(島田)	1	D I K	2
日本ハム	1	アクト(株)	4
セルスター	1	シーク(株)	1
小糸製作所	42	日機装	2
NOK	1	ナカジマ鋼管	1
フジオーゼックス	1	タキ電装	1
ミクニ	1	KOマート	1
LEC	1	(株)不二蒸着	1
富士宮通運	1	(株)ジェイフィルム	1
杉山製作所	1	榛南製作所	1
ニチデン	1	その他	19
コウセイ工業	1	ピアス	1
生駒化学	2	不明	6
トライ榛原	4		